

2019年度トマトハウス内の栽培品種について



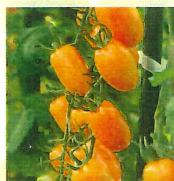
フルティカ<中玉トマト>

中玉の中では最高レベルの糖度 7~8 度。果肉は滑らかで弾力性があり、食感のよい品種。果皮は薄くて口に残りにくく、ゼリーの飛び出しが少ないのが特徴です。



フラガール

フルーツ感あふれる甘い食味、一口食べれば動きだし、二口目には、ステップを踏んで踊り出す情熱的なおいしさ。果実に女性的な「くびれ」があり、食べると踊りだしなくなるおいしさということで「フラガール」と名付けられました。



フラガール オランジェ (橙) [New]

「フラガール」のオレンジバージョン。一口食べれば動きだし、二口目には、ステップを踏んで踊り出す情熱的なおいしさは「フラガール」と同等以上。



千果

やや大粒の果実で糖度が高く、肌ツヤが良く、見ても食べても満足。抗酸化作用があるといわれるリコピンも、大玉トマトの 3~4 倍多く含まれているといわれています。



イエローミミ

糖度の高いフルーティーな食味で、鮮やかなレモンイエローに着色する今までにないミニトマトです。フルーツ感覚で食べられるサッパリした甘さが特徴です。食味が良く、甘味、うま味がしっかりしているため高く評価されている品種です。



トマトベリー

イチゴのようなかわいいハート型をしたミニトマト。甘くて肉厚な食感を楽しめます。糖度が高く九度から十度以上とスイカなりに甘く、甘味と酸味のバランスが絶妙で、フルーツ・スイーツ感覚で食べていただけます。二歳の女の子が「パパがイチゴを持ってきてくれた」と大喜びしたことから「トマト」と「ストロベリー」のイメージを足して、トマトベリーと名づけられました。

2019年度トマトハウス内の栽培品種について



プチぷよ

赤ちゃんのほっぺのように柔らかく、つやつやしています。皮がとっても薄くて、食べても皮の存在がほとんど感じられず、大きさもちょうどサクランボのようです。酸味も少なく、あっさりとしたフルーツを食べているような食味です。地元 宮城で生まれたトマトです。



プチぷよ (黄) [New]

種子メーカーより 2017 年に新商品として発売！「赤ちゃんのほっぺのよう」なミニトマトの第二弾です。「プチぷよ」と同様に酸味が少ないので甘さを強く感じます。また、フルーティーなので子供やトマトが苦手な方でも食べやすいのが特長です。



Mr.浅野のけっさく<中玉トマト>

ユニークな名前ですが、地元・宮城県の浅野さんが 10 年以上の月日をかけて育種し発売された品種。特に食味にこだわって育成され、ミニトマトの甘さはもちろん、大玉トマトの旨味も併せ持った中玉トマトです。



アイコ

長卵型のミニトマトです。高糖度でとっても甘く、果肉が厚くてゼリーが少なく、丸玉とは異なる食感で、食味極良です。果実はテリがあり、果色が鮮やかです。



プレミアムルビー

酸味と甘さのバランスが良く、従来のミニトマトとは一味違った美味しさがあります。果肉がしっかりしているため食べ応えのあるプレミアムなミニトマトです。